

Science made smarter

Titan 3.6 バージョンアップリリースのご案内

Titan 3.6 より新たに追加された機能

※バージョンアップに関する費用や詳細はダイアテックまでお問合せください。

対象モジュール：IMP

ティンパノグラムのY,B,Gカーブ表示を予め選択する機能を追加
ティンパノグラム波形のY,B,G表示を予め選択することが可能となりました。Titan SuiteのWBTでは、すでにこの機能はサポートされています。
メニュー | セットアップ | プロトコルの設定 | “プロトコル名” | 設定

ティンパノグラムの設定

- Y の表示 G の表示
 B の表示

アドミタンス/コンプライアンス表示切替え機能を追加

ティンパノグラム波形にて、必要に応じ、コンプライアンス表示に加えてアドミタンス表示も選択可能となりました。アドミタンスの単位表示はmmhoです。226Hzでもmmhoです。

メニュー | セットアップ | プロトコルの設定 | “プロトコル名” | 設定 | ティンパノグラム表示

ティンパノグラム表示

- コンプライアンス
 アドミタンス

ティンパノグラムの勾配を示す新しい計算方法を追加

必要に応じ、ティンパノグラムの勾配を3つの表示方法から選択可能となりました。「コンプライアンス」と「圧力」に加えて、3番目の利用可能な勾配は「比率」です。0~1までの数値になり、単位はありません。他の2つと同様にティンパノグラムの勾配を示す新しい計算方法です。この機能は、ティンパノメトリーとWBTの両方で使用可能です。

勾配

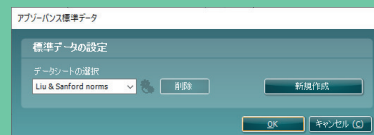
- コンプライアンス
 圧力
 比率

対象モジュール：WBTリサーチ

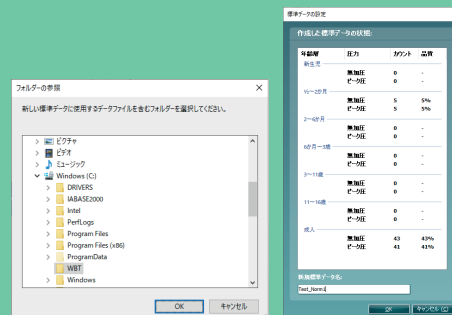
WBTリサーチデータを使用し独自の標準データを作成する機能を追加

WBTリサーチモジュールの生成するデータを使用し、独自のWBアプゾーバンス標準データを作成することが可能となりました。WBTデータを.mファイルでローカルフォルダーに保存した後に標準データを生成します。.mファイルのデータ数に制限はありませんが、年齢層ごとに25以上のデータセットを使用することをお勧めします。.mファイルを保存したフォルダーを選択しデータを取り込みます。ファイル数に応じてデータの取り込み時間が長くなります。それぞれのデータが各年齢層に振分けられた状態を確認できる別画面が表示されます。

メニュー | セットアップ | アプゾーバンス標準データ | 新規作成



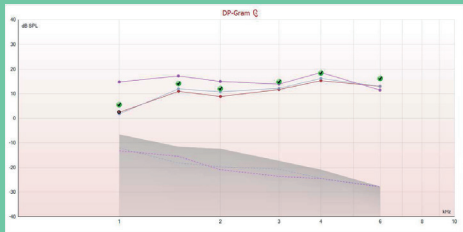
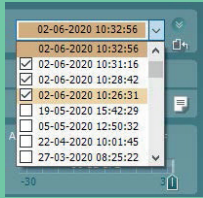
生成した標準データの確認あるいは削除が可能です。一旦作成した標準データに新しい.mファイルのデータを追加することはできませんが、そのかわり、.mファイルを保存するフォルダーに新しい.mファイルを追加保存した後、標準データを追加作成することが可能です。



対象モジュール：DPOAE

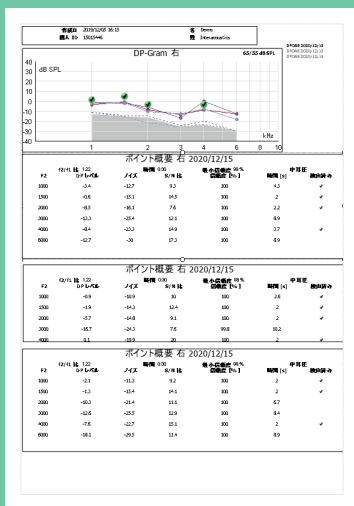
複数セッションの結果比較印刷機能を追加

フォローアップ検査でDPOAEを使用する場合、新旧の検査結果を比較することは有用です。複数の検査結果を選択して1つのレポートに統合して印刷することが可能となりました。まず、比較したいセッション履歴のリストから選択します。



その後、印刷ウィザードで印刷書式を新規作成もしくは編集し、比較する検査結果の数に合わせて印刷するスペースを確保します。「DP-Gram」要素では、選択した複数のセッションが自動的に表示されます。「DP表」要素では、右クリックで「セッションの選択」を選択し、表示したいセッションを、1（メイン）/2/3の数字から選択します。1は注目するセッションです。

ポイント概要 右 2020/12/15						
F2	f2/f1 比	DP レベル	検査耳の選択	最小信頼度 98%	時間 [s]	中耳圧
1000	-3.4		検査耳の選択	100	4.3	✓
1500	-0.6		インテックスの選択	100	2	✓
2000	-8.5		セッションの選択	100	2.2	✓
3000	-13.3		境界の切替え	100	8.9	
4000	-8.4	-23.3	戻る	100	3.7	✓
6000	-12.7	-30		100	8.9	



加圧式OAE検査の概要欄に圧力の表示を追加

検査中や検査結果の評価時に有効な検査概要表示の内容を改良しました。「中耳圧」の表示項目が追加され、検査中の実際の圧力を表示します。また、ティンパノグラムの結果から得られた目標圧力も表示しますので、圧力値の比較が可能です。

DPOAE「中耳圧」表示例：左の値が実際の圧力を示し、右の値がティンパノグラムまたはWBTの結果から得られた目標圧力を示します。

検査概要	
利得レベル L1/L2	65/55 dB SPL
f2/f1 比	1.22
最小 DP 信頼度	98 %
検出済みポイント数	4
中耳圧	-3 daPa [-7]

対象モジュール：IMP / WBT

OtoAccessデータベースでプレビュー表示可能な検査種を追加

1つのセッションに複数の検査結果が含まれる場合は最初の結果が表示されます。例えば、Tymp226とReflexの順に測定した場合はTymp226の結果をプレビュー表示します。OtoAccessデータベースがインストールされていれば特別な設定は不要です。

対象モジュール：IMP / WBT / DPOAE / TEOAE / ABRIS

被検者を簡単に切り替える機能を追加

(Noah/OtoAccess2.xデータベース)

NoahまたはOtoAccessデータベースで異なる被検者を選択するだけで、Titan Suiteを閉じることなく、被検者を簡単に切り替えることができるようになりました。測定データが保存されていない場合は、被検者が切り替わると同時に自動的にデータが保存されます。Titan Suiteを起動したまま、被検者が切り替わるので、Titan Suiteを再起動する時間を節約できます。

※この機能を使用する場合は、休憩時や夜間など長期間使用しないときは、Titan Suiteを閉じてデータを保存することをお勧めします。

データベースの「レポートの表示」機能を有効にする新メニューを追加 (OtoAccess2.xデータベース)

OtoAccessデータベースからTitan Suiteを起動している場合、「Save report to Database」メニューにより、「レポートの表示」ボタンが使用できるようになります。同時に表示用のデータがデータベースに自動的に保存されるようになります。データベースにデータを保存する時間の短縮のため、本機能はデフォルトで無効になっています。

メニュー | セットアップ | Save report to Database

※バージョンアップに関する費用や詳細はダイアテックまでお問合せください。

